

東照宮御代

鵜飼

高二十石式人扶持

源姓

家紋

丸一文字
五三之桐

後嵯峨院孫鎌倉惟康親王之末
孫従二位中納言源重国二十四代上野
国碓氷郡松井田住人安中伊賀守
忠清三男安中治郎左衛門源忠房永
正三年十月避仇伊賀国に改姓名鵜
飼五郎左衛門源義故政と号

政長

次郎兵衛

東照宮三州御治国之砌永禄十一年

伊賀國より三州へ罷越岡崎にを

いて召出され数ヶ度御出陣

供奉三州遠州御治國の砌地

方式拾石三州にて賜い天正十八

年関東御入国御供三州にての旗

頭加藤喜左衛門を以御奉公の儀願

奉り候處喜左衛門へ関東之内檢

地御用仰付られ喜左衛門支配にて

勤御扶持方式人扶持下され此節

土井大炊頭より内意有之御先手

役勤候様被仰渡候處喜左衛門申上

しには此者義は数ヶ度御出陣

の御供仕御奉公段々相勤候ものに

御座候間可然御番仰付られ被下

候様申上候處喜左衛門病死に附

喜左衛門子加藤喜助支配にて罷在

両御陣共勤御帰陣後加秩拾俵

賜い○元和三年六月廿八日死八拾

三歳四ツ谷南寺町戒行寺に葬

政尚

権左衛門

元和三年家督○寛永十九年

御廣敷伊賀○延宝六年十月

十八日死八拾九歳同寺に葬

政之

次郎兵衛

延宝六年家督○御廣敷伊

賀○元禄十二年四月五日死六拾

六歳同寺に葬

政玄

五郎左衛門

元禄十一年家督明屋鋪伊賀

○御廣敷伊賀○享保四年六月

十六日死五十一歳同寺に葬

政則

久五郎

享保四年九月十九日家督明屋敷

伊賀○同十三年七月廿日死二十

一歳同寺に葬

政福

佐市郎

跡部宮内家来

享保十三年十月家督明屋敷伊

賀○同十八年十一月

天英院殿御廣敷伊賀○元文六年

二月薨去に付寛保元年四月一統

小普請○同年六月十一日二丸

御部屋方御廣敷伊賀○寛延

元年十一月十一日

御簾中御迎御用翌年三月御下向

御供○宝暦二年七月西丸大奥

御修覆御用懸同十二月御褒美有

○同三年十二月廿三日御廣敷添

番並五拾俵御足高○同八年

十一月廿四日御廣敷添番百俵高

に御足高下さる○同十年五月

御臺所御廣敷添番○同十一年

二月より五月まで大奥新規御

殿御普請に付定勤番八月十三日

御褒美下さる○同十二年二月晦日

田鸛宮御下向に付御迎御用三月十九日

御暇銀廿枚同月廿三日出府同五月

四日御供帰府六月晦日御褒美○

明和三年十二月大奥御普請懸○

同四年十二月右御褒美○同五年

二月西丸大奥向御修復御用掛

○同六年十二月右御褒美銀拾枚

○同七年正月大奥長局建直

御修復御用同十二月御褒美○安

永三年正月大奥一之御殿御修復

御用懸同年十一月御褒美○定式

御普請掛御褒美○安永五年

二月廿一日御普請懸御免○同年

三月十四日死同寺に葬

以下略